

### 川野夏橙の品質に関する研究

(第4報) 数種台木と品質との関係

中村昭二・古野信雄・\*三股正・\*甲斐一平

(大分県園東柑橘指導所)

NAKAMURA, S., FURUNO, N., MIMATA, T. and KAI, I.

Studies on the Quality of Kawano-Natsudaidai

(IV) Relation between rootstocks and the quality

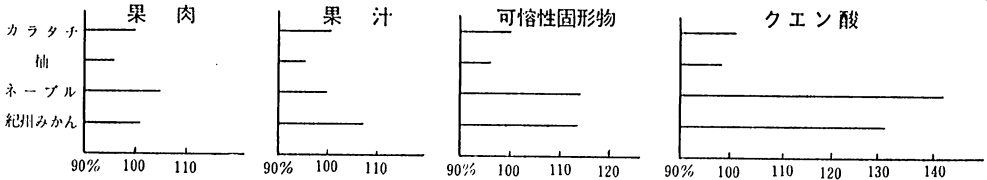
川野夏橙は時期的に果実の端境期でもあり、又風味の点から、近年好評を受けて来たが、今後尚一層の品質向上を目指すべきだと思われる。この品質に影響する要因は種々存在するが、気象、立地条件等のように外的要因により左右される場合と、系統自体の形質、即ち内的要因による場合の二者が考えられる。これら両者の中、内的要因に於いて品質面で優れた形質を有することは、常時優品を生産し得るので、非常に好ましいことである。

それ故優れた形質を導入する一方法として接木が考えられる。台木は地上部の川野夏橙との間に相互生理作用が働いて果実の品質に大きく影響すると考えられたのでこれの調査を行った。

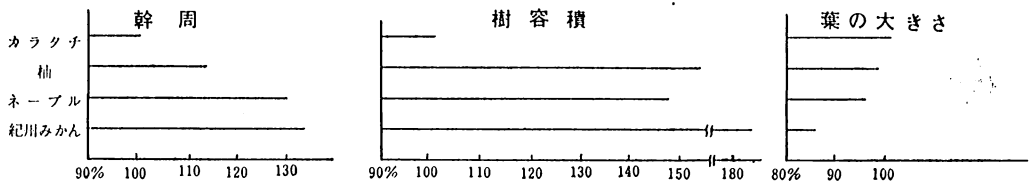
#### 供試材料及び方法

1962年は古生届植壤土の一般圃場に植栽されているカラタチ台及び柚台8年生樹各3樹を供用し、1963年から同一条件下にある紀州みかん台1樹、およびネーブル中間台3樹を加え、台木4種類について調査を行った。分析供試果は各樹から5~10果をあて各年産果実とも4月中旬から5月始め頃にかけて分析を行った。尚1966年4月には台木別の樹勢調査も行った。

第1図 台木別果実品質比較 (4ヶ年平均)



第2図 台木別樹勢比較



\* 津久見柑橘試験場

#### 調査成績及び考察

(1) 1962年実施のカラタチ台及び柚台の果実品質の比較では、カラタチ台が着色良好で果肉、果汁、糖酸共に多く、果汁が濃厚で品質的にすぐれていた。

(2) 1963年から4年間の台木4種の比較では、紀州みかん、ネーブル中間台に於いて果皮の色沢がよく、果肉、果汁、糖酸ともに多く、果汁濃厚で風味良好であった。カラタチではこれら兩種に比し、各要素ともかなり劣り、柚台は酢上り現象が認められ、品質は顕著に劣った。

(3) 樹勢は紀州みかん台が最も旺盛でカラタチ台はかなり劣った。

以上の成績から川野夏橙の品質向上に有効と思われる台木は紀州みかん台とネーブル中間台が考えられるが、ネーブル中間台は実用的な普及に乏しいと思われるので紀州みかん台の利用が望ましい。この紀州みかん台の普及上の問題点としては、今後の増植苗木については積極的に本台木の利用を図り、既設園の改善としては根接による普及が実用性のある方法と思われる。

なお当試験は供試樹が少ないので今後これを増し、追試する必要が認められる。

第1表 カラタチ、柚台果の時期別品質 (1962年産果)

月日及び台木	1果実重g	果肉%	果汁%	果汁比重	可溶性固形物g	クエン酸g	甘味比	果形指数	果比重	
2.1	K	336	70.3	60.6	1.0450	11.40	2.27	5.02	82	0.871
	Y	354	66.5	59.1	1.0410	10.40	2.04	5.10	76	0.851
2.20	K	360	65.3	61.7	1.0450	11.40	1.68	6.79	80	0.874
	Y	340	63.8	58.3	1.0420	10.65	1.56	6.83	75	0.845
3.5	K	380	65.8	63.4	1.0450	11.40	1.64	6.95	80	0.873
	Y	382	62.6	53.5	1.0400	10.16	1.31	7.75	75	0.851
平均	K	359	67.1	61.9	1.0450	11.40	1.86	6.25	81	0.873
	Y	359	64.3	57.0	1.0410	10.40	1.64	6.56	75	0.849

K : カラタチ Y : 柚

第2表 1963年～1966年間の台木別果実品質

台木	年	1果実g	果肉%	果汁%	果汁比重	可溶性固形物g	クエン酸g	甘味比	果形指数	果比重
カラタチ	1963	366	57.7	62.6	—	8.20	1.48	5.55	122	0.710
	1964	349	63.7	61.7	1.0380	9.70	1.19	8.16	122	0.793
	1965	359	68.1	61.8	1.0370	9.80	1.02	9.65	126	—
	1966	347	62.0	—	1.0440	11.64	1.48	7.88	122	—
	平均	355	62.6	62.0	1.0400	9.84	1.29	7.81	124	0.752
柚	1963	402	57.3	54.8	—	8.80	1.45	6.07	119	0.685
	1964	345	63.2	58.6	1.0350	9.00	1.11	8.20	128	0.793
	1965	354	62.2	62.7	1.0350	9.25	1.15	8.05	121	—
	1966	356	57.0	—	1.0398	10.51	1.38	7.61	124	—
	平均	364	59.9	58.7	1.0370	9.39	1.27	7.48	123	0.739
ネーブル	1963	354	62.2	56.4	—	10.40	1.78	5.85	120	0.750
	1964	272	68.5	59.6	1.0460	11.65	1.89	6.16	130	0.832
	1965	382	65.7	68.9	1.0370	9.80	1.50	6.54	122	—
	1966	332	67.0	—	1.0490	13.21	2.15	6.15	126	—
	平均	335	65.8	61.6	1.0440	11.26	1.83	6.17	124	0.792
紀州みかん	1963	382	64.4	67.1	—	9.6	1.68	5.72	125	0.742
	1964	306	62.1	61.4	1.0460	11.65	1.75	6.66	130	0.841
	1965	325	63.1	68.8	1.0420	11.10	1.56	7.11	121	—
	1966	349	63.0	—	1.0450	12.13	1.64	7.40	126	—
	平均	340	63.1	65.7	1.0440	11.12	1.66	6.72	125	0.791